

第 5 章 保健福祉部

第 1 節 福祉トータルサポートセンター

〔総括概要〕

福祉トータルサポートセンターにおける主な事務分掌は、高齢者福祉を除く法定・任意の福祉計画の策定、栃木市社会福祉協議会に関すること、福祉制度の見直しに関すること、民生委員児童委員に関すること、地域福祉の推進に関すること、日本赤十字社に関すること、災害救助や災害見舞等に関すること、福祉関係団体の育成指導に関すること、発達障がいを含む障がい児（者）の相談及び支援、理解のための普及及び啓発、関係機関との連絡調整に関することなどである。

福祉政策担当では、社会福祉施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、栃木市社会福祉施策推進委員会を設置し、次世代育成支援対策行動計画の再編等について審議を行った。

栃木特別支援学校の生徒が、職場体験を通して、働く際に必要な態度、技能、知識を身につけるために行う就業体験学習の受入れを実施した。

社会福祉法人栃木市社会福祉協議会の組織基盤や財政基盤の健全化を図り、市民から信頼される組織運営を推進するため、経営改善への取組みを行った。

福祉トータルサポート担当では、生涯を通して一貫した支援が必要で、かつ複数の関係機関との連携を必要とする当事者に対し、総合的な調整や長期的視野に立った相談支援活動を行った。

「医療」「保健」「福祉」「教育」等、複数の関係機関職員が出席する受理・ケース検討会議を開催して、情報の一元化、具体的な支援方法の決定などを組織的に行うこと等により、当事者の課題に寄り添い、解決に向けた総合的な取組を行った。

特にライフステージが頻繁に変化し、多くの機関の連携による支援が必要な乳幼児期から学齢期の対応に重点を置き、センターの専門職が、保育園・幼稚園、小中学校への巡回相談を実施し、より具体的な支援の方法についてアドバイスを行った。また、作業療法士を配置して、障がい児等に対する作業療法面からの支援を行った。

健康増進課所管の乳幼児健康診査や5歳児発達相談等に職員を派遣し、発達障がいを含む障がい児等を早期に療育の場につなげるなど、子どもの特性に応じた環境整備を図った。

平成21年度から、ことばの発達の遅れている幼児等にことばの指導等を行うため、言語指導教室（ことり教室）を開始した。

トータルサポートの仕組みについて、講演会等での啓発活動を行うとともに、保育園・幼稚園、小中学校等を始めとした、相談の入り口であり直接支援を行なう関係者に対し研修を実施し、的確な対応の図れる体制作りのための人材育成に努めた。

福祉政策担当

1 社会福祉施策推進委員会の設置

社会福祉施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、栃木市社会福祉施策推進委員会を設置し、21名の委員を委嘱した。また、専門的な事項について調査研究及び検討するため、委員会に、高齢者福祉、児童福祉、障がい者福祉、就労支援の4つの専門部会を置いた。

第1回 社会福祉施策推進委員会	11月26日	・社会福祉施策推進委員会の進め方について ・委員長、副委員長の選出 ・栃木市次世代育成支援対策行動計画について
第1回 社会福祉施策推進委員会児童部会	1月26日	・子育て支援事業にかかる目標事業量の設定について ・栃木市次世代育成支援対策行動計画素案について

2 法定・任意計画の再編

次代の社会を担う子どもが健やかに生まれ、育成され、また、親が子育ての喜びと責任を感じるような環境をつくるため、次世代育成支援対策推進法に基づき平成21年度に旧市町で策定した「次世代育成支援対策行動計画」（後期計画）の再編作業に着手した。

3 障がい者就労支援

栃木特別支援学校の生徒に対し、実際の職場における就業体験を通して、卒業後の就労に向けての訓練に協力した。

また、就労支援施設、企業、関係機関等のメンバーにより、障がい者の就労支援に関する座談会を2回、研修会を1回開催し、就労支援の推進について意見交換等を行った。

4 実務研修生の受入れ

社会福祉援助技術の現場実習として、福祉大学の学生を受入れ、福祉庁舎内での各種講義や社会福祉施設での現場実習を行った。

5 身体障がい者福祉関係

(1) 障がい者体力増進事業関係

ア 体力回復トレーニングを9月11日国立科学博物館において実施した。

参加者61人

イ 第6回栃木県障害者スポーツ大会が9月26日に栃木県総合運動公園陸上競技場を主会場として開催され、本市からは26人の選手が出場した。

ウ 第5回障がい者軽スポーツ大会を3月6日栃木勤労者体育センターで開催した。

参加者76人

(2) 身体障がい者相談員の活動状況

身体障がい者の自立更生について、10人の相談員が相談指導に当たった。

6 知的障がい者（児）福祉関係

知的障がい者の自立更生について、8人の相談員が相談指導に当たった。

7 地域活動支援センター事業

障害者自立支援法に基づき、障がい者及び障がい児に、創造的活動や生産活動の機会を提供し、社会参加や交流の促進を図るために実施した。

運営状況

施設名	所在地	開所日数	通所延べ人員
オープンハウスたんぽぽ	栃木市小平町6-11	296日	2,207人
さざなみの家	栃木市平柳町1-2-7	241日	1,486人

8 民生委員児童委員関係

民生委員児童委員190人により、関係機関と連携協力のもと各種調査相談等を行い、そのうち主任児童委員24人は、特に児童福祉に関する活動を専門的に行った。

(1) 相談・指導状況

(単位：件)

地域福祉・在宅福祉	家族関係	住居	保健・医療・健康	仕事	生活費	年金・保険
361	77	32	119	12	61	16
非行・養護・健全育成	生活環境	その他	計	委員1人当たり件数		
187	120	781	1,766	9.3		

(2) 調査等状況

(単位：件)

調査	証明事務	施設団体公的機関との連絡	諸会合・行事への参加	友愛訪問・安否確認のための訪問	計	委員1人当たり件数
6,253	294	4,127	14,448	27,520	52,642	277

9 日本赤十字事業

人道・博愛の精神を基調として、社会福祉増進のため災害救護を実施した。

(1) 日赤募金（栃木地区）

目標額	実績額	達成率
9,032,000円	8,506,233円	94.2%

(2) 災害による救援品配布状況（栃木地区）

区分	世帯数	人数	毛布	布団	日用品
火災	4世帯	11人	11枚	11組	4個

(3) 災害見舞金給付状況

全焼件数	半焼件数	部分焼	部分損壊	火災死亡
8件	2件	2件	—	4件

(4) 講習会等

- ・健康生活支援講習 1 回
- ・幼児安全法 1 回

10 戦傷病者遺族等援護

(1) 戦傷病者関係

ア 戦傷病者手帳等の交付

手帳交付	乗車券割引証交付
—	—

イ 戦傷病者補装具等の交付

交付申請	修理
—	—

(2) 戦没者遺族関係

ア 戦没者等の遺族に対する特別弔慰金

請求書受付進達	裁 定	国債交付	却下・取下げ
1 件	4 件	13件	—

イ 戦傷病者等の妻に対する特別給付金

請求書受付進達	裁 定	国債交付	却下・取下げ
—	—	1 件	—

11 緊急雇用創出事業・ふるさと雇用再生特別事業

「緊急雇用創出事業」、「ふるさと雇用再生特別事業」制度を活用し、地域求職者を雇用して地域福祉に貢献する5事業を委託した。

委託内容	委託先
障がい者の自立を支援する施設運営事業	特定非営利活動法人 ハートフルふきあげ
地域福祉ホームの運営を支援する事業	特定非営利活動法人 結
障がい者の相談等支援事業	特定非営利活動法人 海がめ 社会福祉法人 なすびの里 社会福祉法人 あゆみ園

福祉トータルサポート担当

1 受理・ケース検討会議

受理・ケース検討会議は毎週火曜日（緊急の場合には随時）に開催した。

実施年度	開催数〔緊急〕	検討ケース数
平成 21 年度	34 回〔3 回〕	114 件〔3 件〕
平成 22 年度	34 回〔0 回〕	72 件〔0 件〕

〔 〕は、緊急受理会議

2 福祉トータルサポートセンター相談支援等業務状況

生涯にわたっての相談業務及び関係機関との調整等により、情報の共有化を図り、継続して一貫した支援を実施した。心理関係の専門職及び言語聴覚士を配置し、保育園・幼稚園、小中学校への巡回相談を実施し、対応について配慮が必要なお子さんに対し、早期に、より具体的な支援の方法についてアドバイスを行うことで、園や学校での生活の安定を図った。また、作業療法士を配置して、障がい児に対する作業療法面からの支援を行った。

(1) 支援ケース内訳

番号	種 別	説 明	平成 21 年度 支援ケース (件)	平成 22 年度 支援ケース (件)
1	自閉性障がい	他人との社会的関係の形成が困難、言葉の発達の遅れ、興味・関心の限定を特徴とするもの	17	19
2	高機能自閉症	自閉性障がいのうち、知的発達の遅れを伴わないもの	3	3
3	アスペルガー障がい	自閉性障がいのうち、言葉の発達の遅れを伴わないもの	3	10
4	注意欠陥多動性障がい (ADHD)	年齢や発達に不釣り合いな注意力・衝動性・多動性を特徴とするもの	25	25
5	学習障がい (LD)	全般的な知的発達の遅れはないが、読む・書く・計算するなどの特定の能力に困難を示すもの	1	1
6	広汎性発達障がい	上記の障がいには該当しないが、いくつかの特徴を示すもの	31	29
7	知的障がい	療育手帳を有するか、若しくはその取得基準に準ずるもの	33	30
8	言葉の悩み	健診の結果及び保護者からの相談によるもの	71	78
9	身体障がい	身体障がい者手帳を有するもの	3	2
10	重症心身障がい	重度の知的障がいと重度の身体障がいを重複するもの	6	8
11	精神障がい	精神障がい者保健福祉手帳を有する、若しくは精神疾患の診断を受けているもの	—	—
12	その他	診断名がついていないもの (未受診を含む)	981	1,088
合 計			1,174	1,293

(2) 家庭訪問等（当事者への相談助言及び連絡調整の延べ回数）

	平成 21 年度(回)	平成 22 年度 (回)
家庭訪問	23	18
電話相談	311	242
来所相談	446	162
合 計	780	422

(3) 関係機関訪問・連絡調整等（延べ回数）

	平成 2 1 年度(回)	平成 2 2 年度(回)
幼稚園（民間）	1 0 3	5 5
保育園（民間）	1 0	6
保育園（市立）	5 8	4 0
小学校	1 7 3	1 6 4
中学校	2 4	6
特別支援学校等	3 5	2 3
児童相談所	8	1 4
医療機関	2 3	4 4
事業所等	1 2 1	1 8 5
関係課（市）	4 0 2	3 5 2
その他	3 8	2 8
巡回相談	2 0 8	3 3 7
合 計	1 , 2 0 3	1 , 2 5 4

※巡回相談は、健康増進課所管の5歳児発達相談における「行動観察」を含む。

※園・校内委員会の参加を含む。

(4) 機関別巡回相談回数及び対象人数

	訪問回数(回)	対象者延べ人数(人)	対象者実人数(人)
幼稚園・保育園（民間）	9 0	3 6 7	3 4 8
市 立 保 育 園	6 2	1 7 4	1 5 5
小 学 校	1 6 2	2 5 6	1 7 1
中 学 校	9	1 2	4
特 別 支 援 学 校 等	2	4	2
療 育 機 関 等	1 2	4 1	3 9
合 計	3 3 7	8 5 4	7 1 9

(5) 個別支援計画等の作成

	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
個別支援計画	4 2 件	2 7 件
巡回相談記録票（対応、環境設定のアドバイス等）	6 3 1 件	2 8 6 件

3 健康診査等職員派遣状況

健康増進課所管の1歳6か月児健診、3歳児健康診査、5歳児発達相談等に福祉トータルサポートセンターの職員（心理職、言語聴覚士等）を派遣し、発達障がいを含む障がい児等を早期に療育の場につなげる等、子どもの特性に応じた環境整備を図った。

(1) 1歳6か月児健康診査実施状況（面接、行動観察）

派遣回数	心理職等派遣延人数
20回	40人

(2) 3歳児健康診査実施状況（面接、行動観察）

派遣回数	心理職等派遣延人数
19回	20人

(3) 5歳児発達相談実施状況（行動観察）

派遣回数	観察人数	心理職等派遣延人数
32回	344人	74人

(4) 乳幼児発達相談実施状況（保護者面接、受診者のアセスメント）

派遣回数	対象延べ人数	心理職等派遣延人数
17回	76人	60人

4 福祉トータルサポートセンター啓発活動及び研修状況

人を中心とするトータルサポートの支援の仕組み作りについて、講演会等様々な機会をとらえ啓発活動をしてきた。また、保育園・幼稚園、小中学校等を始めとした関係機関に対し研修を実施し、的確な対応の図れる体制作りのための人材育成に努めた。

(1) 啓発活動（講演会等）参加

日 付	演 題 等	主 催
6月 1日 7月 20日 9月 7日 12月 14日 2月 8日	子育て支援教育（すくすく教室） 「子育てアドバイス」	健康増進課 健康づくり担当
6月 3日	「発達につまづきのある子の子育て」	宇都宮市子ども発達センター 通園グループ親の会
7月 7日	栃木市家庭教育学級（寺尾中央小学校） 「子どもに『教える』とは？」	生涯学習課
7月 8日	放課後児童会研修会 「配慮を要する児童の理解と支援のために」	こども課
7月 8日	「自閉症等に対する支援について」	社会福祉法人すぎのこ会 身体障害者療護施設 ひのきの杜
7月 16日	「福祉トータルサポートセンターについて」	栃木市藤岡町 民生委員児童委員協議会

8月 2日	特別支援教育研修会 事例研究「個別の指導計画について」	栃木市立三鴨小学校
8月 4日	「発達障がいの概要と 支援を要する児童の具体的な対応について」 個別の指導計画（すくすくシート） の作成（実技研修）	栃木第五小学校
9月 8日	民生委員児童委員協議会定例会 「発達障がいの理解と支援について」	大平地区民生委員児童委員協議会
10月 2日 1月 22日 2月 19日	両親教室 「家族のふれあいの大切さ」	健康増進課 大平総合支所 健康福祉課
10月 18日	出前講座 「ふくしのトータルサポート」	栃木特別支援学校
11月 17日	栃木市家庭教育学級（栃木第四小学校） 「子どもに『教える』とは？」	生涯学習課
11月 30日	出前講座 「ふくしのトータルサポート」	藤岡町心身障害児（者）親の会
12月 17日	専門家チームによる巡回相談事業 についての事例検討	宇都宮市教育センター
1月 19日 2月 2日	とちぎ市民学舎 発見の森セミナー 第2回「愛着形成と心の発達」 第4回「食育2～言葉の発達への影響～」	生涯学習課

(2) トータルサポート研修会

日 付	演 題 等	参加者(人)	講 師
7月 12日 8月 6日 9月 10日 10月 22日 11月 19日 1月 21日	発達障がいスキルアップ研修	81	福祉トータルサポートセンター職員 トータルサポート専門員
6月 25日	「発達障害の医療・医学研究最新情報」	50	在東ティモール日本国大使館 参事官医務官 塩川 宏郷
7月 28日	「ことばの育ちを支援する」	12	トータルサポート専門員
8月 20日	「気になる子へのアプローチ」	46	福祉トータルサポートセンター職員
10月 18日	「障がい者の就労支援のいまとこれから」	20	宇都宮大学教育学部教授 梅永雄二

5 言語指導教室（ことり教室）

栃木市及び西方町に住所を有する、就学前でことばやコミュニケーションに課題のある幼児等を対象に、ことばの指導を行い社会への適応能力の育成を図った。

	利用延べ人数
平成 2 1 年度	3 7 9 人
平成 2 2 年度	1, 5 9 4 人